

子ども・子育て支援新制度に係る
教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の
「確保方策」について

(中 間 案)

子ども・子育て支援新制度に係る教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の「確保方策」について

1 教育・保育

(1) 基本的な考え方

利用定員については、各施設の意向を確認しながら、認可定員の範囲内において、実際の利用状況を反映の上、設定したもの。

また、公立の保育施設については、「気仙沼市児童福祉施設等再編整備計画」の内容（認可保育所の認定こども園化、小規模保育所の編入など）と整合性を図りながら、計画期間中における「確保方策」を設定する。

(2) 1号認定

「1号認定の3～5歳児」及び「2号認定の3～5歳児（保育の必要性あり）のうち、幼児教育の利用希望が強いと想定されるもの」の総数（幼稚園及び認定こども園の利用）

単位：人

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	1号認定	/	/	287	285	279	277	275
	2号認定 (幼児期の学校教育の利用希望が強い)	/	/	377	374	365	363	360
	計	700	677	664	659	644	640	635
確保方策	特定教育・保育施設 (認定こども園・幼稚園)	/	/	330	330	330	330	330
	確認を受けない幼稚園 ※	/	/	580	580	580	580	580
	計	/	/	910	910	910	910	910
過不足		/	/	246	251	266	270	275

※ 確保方策の記載にあたっては、特定・教育保育施設に該当しない幼稚園（確認を受けない幼稚園）も含む。

(3) 2号認定

3～5歳児（保育の必要性あり 保育所及び認定こども園の利用）

単位：人

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		443	428	382	380	370	368	365
確保方策	特定教育・保育施設 (認定こども園・保育所)			380	393	413	423	423
	認可外保育施設 ※			210	190	170	120	120
過不足				208	203	213	175	178

※ 市立小規模保育所（へき地保育所）及び低年齢児保育施設助成事業費補助金の対象となっている認可外保育施設

(4) 3号認定

0歳児（保育の必要性あり 保育所及び認定こども園の利用）

単位：人

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		23	36	45	54	64	73	82
確保方策	特定教育・保育施設 (認定こども園・保育所)			56	56	58	76	76
	特定地域型保育事業			3	3	3	3	3
	認可外保育施設 ※			3	3	3	3	3
過不足				17	8	0	9	0

※ 低年齢児保育施設助成事業費補助金の対象となっている認可外保育施設

(5) 3号認定

1・2歳児（保育の必要性あり 保育所及び認定こども園の利用）

単位：人

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		199	198	258	256	252	255	245
確保方策	特定教育・保育施設 (認定こども園・保育所)			179	179	179	195	195
	特定地域型保育事業			6	6	44	44	44
	認可外保育施設 ※			45	45	7	7	7
過不足				△ 28	△ 26	△ 22	△ 9	1

※ 低年齢児保育施設助成事業費補助金の対象となっている認可外保育施設

2 地域子ども・子育て支援事業

(1) 利用者支援事業

【事業概要】 身近な場所で、教育・保育施設や地域の子ども・子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業

単位：か所

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	—	—	3	3	3	3	3
確保方策			0	1	3	3	3
過不足			△ 3	△ 2	0	0	0

【考え方】 子ども家庭課及び唐桑・本吉総合支所保健福祉課に職員を配置し、事業実施を図る。

(2) 延長保育事業

【事業概要】 保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間、保育所等において保育を実施する事業

単位：人

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	18	—	65	64	63	62	62
確保方策			25	40	40	62	62
過不足			△ 40	△ 24	△ 23	0	0

【考え方】 現行は、津谷保育所1施設において19時までの延長保育を実施しているが、計画期間内において、新たに3施設程度で18時30分以降の保育の実施を図る。

(3) 放課後児童健全育成事業

【事業概要】 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後等に過ごす居場所（児童クラブ）を確保し、その健全な育成を図る事業

単位：人、か所

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31	
低学年	量の見込み	人数	259	267	298	281	273	266	253
		か所数	11	11	17	17	17	17	17
	確保方策	人数			258	244	250	244	253
		か所数			11	11	12	12	17
高学年	量の見込み	人数	43	34	92	85	82	82	79
		か所数	11	11	17	17	17	17	17
	確保方策	人数			79	73	74	74	79
		か所数			11	11	12	12	17
過不足	人数			△ 53	△ 49	△ 31	△ 30	0	
	か所数			6	6	5	5	0	

【考え方】 当面、現行の11施設を継続しながら、未設置地区においては、各地域と協議しながら、現在、気仙沼地域で実施している運営委員会方式による運営の可能性を検討する。

※ 小学校区ごとの確保方策については、P14・15に掲載。

(4) 子育て短期支援事業（ショートステイ）

【事業概要】 保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童を児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業

単位：人日

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	150	—	68	68	66	66	65
確保方策			68	68	66	66	65
過不足			0	0	0	0	0

【考え方】 現行では、旭が丘学園に委託し、事業を実施しているが、今後も同施設1施設での実施を継続する。

(5) 乳児家庭全戸訪問事業

【事業概要】 生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業

単位：人

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	361	—	348	343	338	333	328
確保方策	実施体制		9	9	9	9	9
	実施機関		市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所
	委託団体等		無	無	無	無	無

【考え方】 各年度における出生数を対象とするものであり、0歳児の推計児童数により量の見込みを算出し、現行と同様の体制により、事業実施を継続する。

(6) 養育支援訪問事業

【事業概要】 養育支援が特に必要な家庭を訪問し、養育に関する指導・助言等を行う事業

単位：人

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		68	—	63	63	62	61	60
確保方策	実施体制			9	9	9	9	9
	実施機関			市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所	市健康管理センター及び総合支所
	委託団体等			無	無	無	無	無

【考え方】 平成24年度の発症数（平成24年度の発生率は、2.8%）を基に、量の見込みを推計し、現行と同様の体制により、事業実施を継続する。

(7) 地域子育て支援拠点事業

【事業概要】 乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言その他の援助を行う事業

単位：人日、か所

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	人数	1,215	—	2,018	2,002	1,969	1,941	1,914
	か所数	1	1	ニーズ調査では算出していない				
確保方策	人数			1,200	1,200	1,600	1,941	1,914
	か所数			1	1	3	4	4
過不足	人数			△ 818	△ 802	△ 369	0	0

【考え方】 現在、事業を実施している本吉子育て支援センターに加え、気仙沼市児童福祉施設等再編整備計画により今後整備することとしている、児童センターや認定こども園において事業の実施を図る。

(8) 一時預かり事業

【事業概要】

主として昼間において、幼稚園、保育所、地域子育て支援拠点その他の場所において、一時的に預かり、必要な保護を行う事業

① 幼稚園における在園児対象型

単位：人日

	H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	23,071	—	40,103	39,827	38,860	38,619	38,309
確保方策			40,103	39,827	38,860	38,619	38,309
過不足			0	0	0	0	0

【考え方】

現行の幼稚園全施設（公立6施設、私立5施設）において事業を実施しており、継続して実施。

② 在園児対象型以外

- * 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)

子育て中の保護者等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動(ここでは未就学児が対象)

- * 子育て短期支援事業(トワイライトステイ)

保護者が、疾病等の理由により家庭において一時的に養育が困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業(夜間養護等事業)

単位：人日

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		1,088	—	1,713	1,699	1,671	1,647	1,624
確保方策	一時預かり事業 (在園児対象型を除く)			108	108	144	180	180
	子育て援助活動支援 事業(病児・緊急対応強化事業 を除く)			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ)			9	9	9	9	9
過不足				△ 96	△ 82	△ 18	42	65

【考え方】

現状では、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター)が多く利用されているが、保育所における一時預かりのニーズも想定されることから、津谷保育所1施設での実施から、計画期間内において、新たに4施設程度の保育所等での事業実施を図る。

また、子育て援助活動支援事業については、さらに周知を図るとともに、協力会員の確保など、事業の充実に努める。

子育て短期支援事業(トワイライトステイ)については、現行では、旭が丘学園に委託し、事業を実施しているが、今後も同施設での事業実施を継続する。

(9) 病児保育事業, 子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)

【事業概要】 病児について, 病院・保育所等に付設された専用スペース等において, 看護師等が一時的に保育等を行う事業。

単位: 人日

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み		0	—	906	899	881	872	862
確保方策	病児保育事業			0	0	0	0	862
	子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)			0	0	0	0	0
過不足				△ 906	△ 899	△ 881	△ 872	0

【考え方】 事業実施にあたっては, 医療機関等との協力・連携が必要であり, 先進事例を調査・研究しながら, 検討していく。

(10) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

【事業概要】

子育て中の保護者等を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。

なお、制度上は、小学生のみを対象とした事業であり、未就学児童については「(8) 一時預かり事業」に含めるものとなっている。しかし、現在の市の事業の実施状況から、本項目において未就学児童、小学生それぞれの見込み量を算出し、併記するものとする。

単位：人日

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	未就学児童（再掲）	1,085	—	当該事業に係る量の見込みは算出していない。（一時預かり事業として算出）				
	小学生	247	—	219	207	197	190	185
確保方策	未就学児童（再掲）			1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	小学生			219	207	197	190	185
過不足	未就学児童（再掲）			—	—	—	—	—
	小学生			0	0	0	0	0

【考え方】

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）については、すでに実施し、多く利用されているが、さらに周知を図るとともに、利用会員の確保など、事業の充実に努める。

(11) 妊婦検診事業

【事業概要】 妊婦に対する健康診査を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業

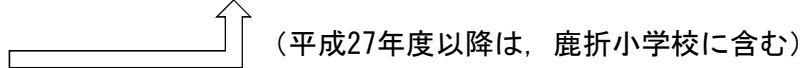
単位：人、回

		H25 (実績)	H26 (実績)	H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	人数	367	—	352	346	341	336	331
	検診回数	14	—	14	14	14	14	14
確保方策	実施場所			県内外の産婦人科病院等	県内外の産婦人科病院等	県内外の産婦人科病院等	県内外の産婦人科病院等	県内外の産婦人科病院等
	実施体制			受診する病院スタッフ数	受診する病院スタッフ数	受診する病院スタッフ数	受診する病院スタッフ数	受診する病院スタッフ数
	検査項目			県の基準に準ずる	県の基準に準ずる	県の基準に準ずる	県の基準に準ずる	県の基準に準ずる
	実施時期			通年	通年	通年	通年	通年

【考え方】 前年度の出生数と当該年度の出生数の平均により、量の見込みを算出し、現行と同様の体制により、事業実施を継続する。

■ 放課後児童健全育成事業に係る確保方策について

(単位：人)

事業名		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (推計)	H28 (推計)	H29 (推計)	H30 (推計)	H31 (推計)
気仙沼小学校区	【低学年】	31	30	31	30	28	27	26
	【高学年】	7	8	9	9	8	8	8
	計	38	38	40	39	36	35	34
九条小学校区	【低学年】	40	36	30	28	27	27	26
	【高学年】	5	10	9	8	8	8	8
	計	45	46	39	36	35	35	34
鹿折小学校区	【低学年】	21	26	25	23	21	22	20
	【高学年】	17	4	8	7	6	7	6
	計	38	30	33	30	27	29	26
白山小学校区	【低学年】							
	【高学年】							
	計							
								
松岩小学校区	【低学年】	28	26	30	27	27	26	25
	【高学年】	3	0	9	8	8	8	8
	計	31	26	39	35	35	34	33
水梨小学校区	【低学年】			0	0	0	0	6
	【高学年】			0	0	0	0	2
	計			0	0	0	0	8
新城小学校区	【低学年】	23	21	17	16	15	15	15
	【高学年】	7	2	5	5	5	5	5
	計	30	23	22	21	20	20	20
月立小学校区	【低学年】			0	0	0	0	1
	【高学年】			0	0	0	0	0
	計			0	0	0	0	1
階上小学校区	【低学年】	22	20	17	14	14	14	13
	【高学年】	4	10	5	4	4	4	4
	計	26	30	22	18	18	18	17
大島小学校区	【低学年】			0	0	0	0	5
	【高学年】			0	0	0	0	2
	計			0	0	0	0	7

事業名		H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (推計)	H28 (推計)	H29 (推計)	H30 (推計)	H31 (推計)
面瀬小学校区	【低学年】	31	40	44	46	37	36	34
	【高学年】	0	0	13	14	11	11	10
	計	31	40	57	60	48	47	44
中井小学校区	【低学年】			0	0	0	0	6
	【高学年】			0	0	0	0	2
	計			0	0	0	0	8
唐桑小学校区	【低学年】			0	0	14	14	12
	【高学年】			0	0	4	4	4
	計			0	0	18	18	16
小原木小学校区	【低学年】			0	0	0	0	2
	【高学年】			0	0	0	0	1
	計			0	0	0	0	3
小泉小学校区	【低学年】	10	14	15	13	14	13	13
	【高学年】	0	0	5	4	4	4	4
	計	10	14	20	17	18	17	17
津谷小学校区	【低学年】	29	30	22	22	28	26	26
	【高学年】	0	0	7	7	8	8	8
	計	29	30	29	29	36	34	34
馬籠小学校区	【低学年】	2	3	5	4	3	3	3
	【高学年】	0	0	2	1	1	1	1
	計	2	3	7	5	4	4	4
大谷小学校区	【低学年】	22	21	22	21	22	21	20
	【高学年】	0	0	7	6	7	6	6
	計	22	21	29	27	29	27	26
合計	【低学年】	259	267	258	244	250	244	253
	【高学年】	43	34	79	73	74	74	79
	計	302	301	337	317	324	318	332

※ 平成25・26年度実績は、各年度4月1日現在在籍数